



大瀬戸 宏樹 議員

Q 待機児童と保育現場の現状と課題、その施策は

A 町 長

施設整備、保育士確保などの環境づくりを支援していく。

【Q 1】

保育所に希望通りに入所できない保護者、子供が本町に多数いると聞かすが、待機児童の現状は。

【A 1】

国の定義による4月1日の待機児童はゼロで続いている。6年度9月頃には3人、国の定義以外で58人出ている。

【Q 2】

どういった施策を打つのか。

【A 2】

6年度は淳教幼稚園の認定こども園へ移行する施設整備の支援、7年度はくまの中央保育園に2歳児以下の受け入れのための増築を支援するなどしていく。

【Q 3】

設備は整備できても人材不足はいまだに深刻だが、保育士の確保策は。しっかりと予算措置をして余裕のある保育環境を整備することが急務ではないか。

【A 3】

その通りだ。6年度の5歳以下の人口推計より実数は89人増えている現状からも、7年度にはさらに力を入れていきたい。

【Q 4】

7年度の予算措置はしているか。

【A 4】

国県の補助金はもちろん、他市町独自の支援を参考にするなど、しっかりした財政支援を計画している。場合によっては7年度中に補正予算を組んででも対応したい。



水原 耕一 議員

Q 災害対策の進捗状況は

A 建設農林部長

災害に強い都市構造の形成に向け事業を推進している。

【Q 1】

町内の通学路に200箇所以上の危険なブロック塀があるが撤去率が低い対策は。

【A 1】

補助金制度の活用をホームページ、広報、自治会連合会の会議で周知していく。

【Q 2】

今年度から始まった熊野町木造住宅耐震化促進事業は大変意味のある事業である。

補助限度額最大で100万円の補助があるが、今年度の相談件数は。

【A 2】

今年度の相談件数は10件で予算の都合上1件しか交付出来なかった。来年度は予算を増やし3件程度の受け入れを可能にしていきたい。

【Q 3】

皇帝ハイツ裏山の砂防堰堤設置事業が決まって4年経過したが、進捗状況は。

【A 3】

来年度には現地測量などに着手する予定と伺っている。今後も早期の完成を要望していく。

【Q 4】

最近道路の陥没事故が多い。老朽管の調査はしているか。

【A 4】

今年1月に発生した八潮市の道路陥没をうけ、道路パトロールや緊急点検を実施した。また、熊野団地の老朽管路についてカメラ調査を行っている。今後、他の老朽管路についても調査していく。

Q 大原ハイツ避難路隣接町有地の整備を

A 町 長

意見や要望をもとに慎重に計画していく。



沖田 ゆかり 議員

【Q 1】

10年以上前からの、懸案事項である町民グラウンド駐車場の整備をするべきではないか。

【A 1】

近隣住民などの交通に支障をきたしているため検討している。

【Q 2】

現在、小中学校のグラウンドをドクターヘリのヘリポートとして活用しているが、子どもたちの教育環境に負担を与えている。町民の命を守り、子どもたちの教育環境を守るためにも、ヘリポートの整備をしていただきたいが。

【A 2】

子どもたちや近隣住民に迷惑をかけている。今後、検討していきたい。

【Q 3】

筆の里工房周辺整備事業に注力されているが、町民の安心安全のため、大原ハイツ避難路隣接町有地の整備を優先するべきではないか。

【A 3】

災害復旧やコロナなどにお金がかかっており遅れているが、教育委員会とともに考え検討していく。もう少し待っていただきたい。



▲ドクターヘリ

Q 女性支援の充実を

A 町 長

適切な支援に繋げるよう取り組んでいる。

【Q 1】

働く女性の健康課題について、三原市では時間を問わず相談できる女性の健康LINEサポート事業に取り組んでいる。熊野町でも取り組んでいただきたいが。

【A 1】

大変重要な取り組みであり、今後しっかり考えていく。

【Q 2】

以前にも質問したが、小中学校の女子トイレに生理用品を設置していただくことについて、検討したのか。海田町でも設置するようだが。

【A 2】

学校擁護部会等と協議したが、現時点では管理が難しいので保健室へ児童、生徒に取りにきてもらう。

今後は、女子トイレに生理用品を設置する方向で検討を進める。

【Q 3】

災害時における避難所での女性への支援について、被害防止のための防犯ブザーは備蓄しているのか。

【A 3】

中央、西、東の防災センターに備蓄している。



▲防犯ブザー